



# 議会だより

発行責任者 議会議長 塚本 誠一

編集者 議会広報編集委員 〒311-2493 茨城県潮来市辻626 電話0299-63-1111(FAX)0299-80-1100



## アンコウ川親水公園が完成

生活排水が流入するアンコウ川等の汚濁負担を軽減、周辺住民の地域活動の活性化、環境学習への活用などを目的とした浄化施設（木炭浄化）を備えた親水公園が整備されました。

## 第二回定例会

◎6月定例会概要…………… 2～3	◎委員会研修視察報告…………… 14～16
◎一般通告質問（8名）…………… 4～11	◎議会行事等…………… 17～18
◎議員活動日誌…………… 12	◎議会を傍聴して…………… 19
◎特別委員会報告…………… 13	◎議会へ一言…………… 20

# こんなことをきめました

## 牛堀小学校屋内運動場新築工事の請負契約締結など33件の議案等を審議

第2回定例会は、6月9日から19日までの11日間にわたり開催されました。

主な議案は、承認6件、報告5件、条例改正4件、補正予算2件、同意1件、意見書提出1件、請願・陳情14件です。一般通告質問については、8名の議員が登壇し、執行部の所信が問われました。

## 退職報償金支給表

階級	年数	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
	団長	187,000	292,000	407,000	542,000	727,000	927,000
副団長	177,000	277,000	377,000	482,000	657,000	857,000	
分団長	167,000	262,000	357,000	457,000	607,000	797,000	
副分団長	162,000	247,000	332,000	422,000	572,000	757,000	
部長及び班長	152,000	227,000	302,000	383,000	512,000	682,000	
団員	142,000	212,000	282,000	357,000	467,000	637,000	

潮来市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部が、次のように改正されました。この条例は、平成十五年四月一日から適用されます。

## 条例の改正

### お知らせ

9月定例会は、9月8日(月)から開催する予定です。

議会を傍聴することは、市政を知る最も良い機会です。誰でも自由に傍聴できますので、この機会にみなさん傍聴しましょう。

詳細については、議会事務局までお問い合わせ下さい。

### 三位一体の改革を求める意見書

わが国の財政状況は、バブル崩壊以降景気回復に向けた、歳出の拡大、大幅な減税などの実施により、一段と悪化している。

これに対して、地方財政の状況も景気対策に伴う、地方債の発行の急増は後年度に公債費負担の大幅な増加をもたらしており、景気低迷に伴う地方税収の伸び悩みと相俟って、地方公共団体の財政の硬直化をもたらしている。

自主、自立の地域社会を目指すためには、地方分権改革の推進により、国の関与を廃止・縮減し、地方公共団体が自立的に財政運営を行い、効率的な財政運営を図るべきである。

政府においては、三位一体の改革案をとりまとめるにあたっては、以下の視点に立った改革を推進されるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出いたします。

記

1. 国庫補助金の改革は、国の関与を廃止・縮減し、地方公共団体の裁量を拡大するとともに、国と地方を通じたスリム化を実現する。
2. 地方交付税については、9割以上の地方公共団体が交付されている現状である。将来にわたり持続可能な財政調整制度を構築し、留保財源率の引き上げ、算定の簡素化を行うべきである。
3. 税源移譲を含む税源配分の見直しは、所得税、酒税等の税源移譲等の早期実現と制度改革を行うべきである。

平成15年6月19日

茨城県潮来市議会

# 請願・陳情の審査結果

種類	件名	提出者	結果
平成14年 請願 第5号	請願書(有事法制関係) (14・9・17 総務委員会付託)	水戸市見川5-127-281 有事法制に反対する茨城県連絡会 代表 山川文男 紹介議員 沼里潤三郎	不採択
平成14年 陳情 第15号	陳情書(前川整備事業関係) (14・12・10 環境経済委員会付託)	潮来市あやめ1-1-16 水郷潮来観光協会 会長 鍋田清一	採 択
請 願 第1号	健保3割等負担増の凍結を国に求める意見書を提出することに関する請願書 (15・3・10 教育福祉委員会付託)	水戸市城南3-15-24みのわビル3階 茨城県社会保障推進協議会事務局 代表委員 渋谷 敦司 色川 栄一 紹介議員 沼里潤三郎	不採択
請 願 第2号	健康保険法改訂に伴う償還払い制度について改善を求める請願書 (15・3・10 教育福祉委員会付託)	水戸市城南3-15-24みのわビル3階 茨城県社会保障推進協議会 代表委員 渋谷 敦司 色川 栄一 紹介議員 沼里潤三郎	不採択
請 願 第3号	支援費制度の改善のために国への意見書採択を求める請願書 (15・3・10 教育福祉委員会付託)	水戸市城南3-15-24みのわビル3階 茨城県社会保障推進協議会 代表委員 渋谷 敦司 色川 栄一 紹介議員 沼里潤三郎	不採択
請 願 第6号	地方交付税削減、国庫支出金削減を止め地方自治体の財源保障を求める意見書提出を求める請願 (15・6・9 総務委員会付託)	潮来市辻221 沼里潤三郎 紹介議員 沼里潤三郎	不採択
請 願 第7号	請願書「潮来市の各小学校に学童保育を」 (15・6・9 教育福祉委員会付託)	潮来市大塚野2-7-12 潮来市の学童保育を考える会 代 表 反町 美香 署名人数 342人 紹介議員 荒金 秀範 根本 又男 沼里潤三郎 小沼 英明	採 択
請 願 第8号	「清潔で公正・公平な国民奉仕を貫く公務員制度の確立を求める請願書」 (15・6・9 総務委員会付託)	東茨城郡茨城町谷田部295 茨城県労働組合総連合 議長 大平 東勝 紹介議員 沼里潤三郎	不採択
請 願 第9号	労働法制の改悪に反対する請願書 (15・6・9 環境経済委員会付託)	つくば市花畑3-9-10 茨城県自治体労働組合連合 執行委員長 大月 昭次 紹介議員 沼里潤三郎	不採択
請 願 第10号	有事法制を廃案にする請願書 (15・6・9 総務委員会付託)	つくば市花畑3-9-10 茨城県自治体労働組合連合 執行委員長 大月 昭次 紹介議員 沼里潤三郎	不採択
請 願 第11号	健保本人の医療負担割合を2割に引き下げることを求める請願書 (15・6・9 教育福祉委員会付託)	つくば市花畑3-9-10 茨城県自治体労働組合連合 執行委員長 大月 昭次 紹介議員 沼里潤三郎	不採択
請 願 第12号	潮来市飼いの犬のふん害等の防止に関する条例の制定に関する請願書 (15・6・9 環境経済委員会付託)	潮来市大塚野2-17-23 代表 吉川 俊 署名人数 1404人 紹介議員 須田 富次 根本 又男	採 択
陳 情 第1号	要望書(防災拠点設置) (15・3・10 総務委員会付託)	潮来市日の出 日の出地区 代表区長 井上 精二	採 択
陳 情 第4号	要望書「牛堀第一小学校跡地利用による地域振興策」について (15・6・9 総務委員会付託)	潮来市牛堀105 潮来市牛堀商工会 会長 山口 敏雄	採 択

## 会議経過

六月九日(月)本会議

開会

市長あいさつ

提出議案審議

請願陳情審議

出席議員 三四人

傍聴者 八人

六月十日(火)委員会

総務委員会

教育福祉委員会

六月十一日(水)委員会

環境経済委員会

六月十二日(木)休会

六月十三日(金)休会

六月十四日(土)休会

六月十五日(日)休会

六月十六日(月)本会議

市政一般に関する通告質問

出席議員 三二人

傍聴者 六七人

六月十七日(火)本会議

市政一般に関する通告質問

出席議員 三四人

傍聴者 三一人

六月十八日(水)休会

六月十九日(木)本会議

追加議案審議

委員会報告

閉会

出席議員 三二人

傍聴者 三人

第二回定例会の傍聴者は、一〇九人でした。

# 一 般 通 告 質 問



内田 正一 議員

## 携帯電話等に関する指導の充実を

携帯電話等の急速な普及に伴い、新聞等で携帯電話による事件や事故の発生が毎日のように載っております。特に、小・中・高校生においては、自由に連絡が取れるため、保護者が子供の交友関係や行動を把握しにくくなり、また匿名性が高いため、いたずらや中傷、いじめなど人権侵害に及ぶ恐れがあります。

このように携帯電話の便利さの裏にある危険性について、保護者に対しても十分な啓発を行うなど、児童生徒にも指導を充実させる必要があると思いますが、各市各小中学校では、どのようなようになっておりますか伺う。

## 学校では使用を禁止している

渡辺教育長

潮来市内の小・中学生の現状でございますが、小学生で一〇%前後、中学生で四〇%から五〇%ぐらいが所持していると調査の上でできております。子供たちに対しては学校に所持しては並びに使用することについては禁止致しております。

クラス、全体集会等で出合い系サイトの持つ恐ろしさ等について話し合い指導をしております。正しい携帯電話の使い方について、保護者に対しても指導監視を強くお願いしているところでございます。出合い系サイト規制法が九月施行、この効果も大いに期待しているところでございます。

## 食農教育と

## 感謝給食の取り組み

地産地消運動の柱に学校給食への地元農産物供給が位置付けられてきたこともあって、農業体験の取り組みの進展と、食教育を一体化した実践も見られるようになってきました。滋賀県多賀小学校では、月に一度、感謝給食の日があるそうです。作ってくれた人たちに感謝と食

べ物の大切さ、ありがたさを実感してもらおうと始まり、ご飯とみそ汁、漬物だけの一汁一菜の質素メニューです。当市小中学校においても、月に一度ぐら

いは、ご飯とみそ汁、漬物だけの質素メニューの給食も良いと思います。感謝給食の日をどのようにお考えですか伺う。

## 食生活のあり方について普及啓発を図る

岡野教育次長

学校給食は、成長期にバランスのとれた栄養豊かな食事を提供し、健康の増進と体位の向上を図り、楽しく食事をともにするという場で、望ましい食習慣を身につけ好ましい人間関係を育てる教育的なねらいを持っています。

食教育の一環として、給食の食材に地産産物の新鮮な農産物を取り入れるとともに、給食週間には栄養職員、担任等が協力して栄養と心の関係、感謝の気持ち、マナーと健康について活動しているところであり、さらに望ましい食生活のあり方について、普及啓発を図っていききたいと思っておりますのでご理解いただきたい。

## 潮来インター周辺と立地企業の課税全額免除について

潮来インター周辺は、交通の結節点であり、県道沿線には道の駅、市道沿線には水郷潮来バスターミナル、さらには地元スーパー大手企業が進出し、配送センターの建設、インター周辺は見違えるような急発展をいたしております。

潮来インター周辺に多くの企業に進出していただきたい。そのためには、立地する企業に三年間ぐらいの課税の全額免除の得点が受けられるような大胆な優遇条件にする必要があると考えます。立地企業に課税の全額免除をする考えはありますでしょうか。

## 減免措置を考えていきたい

箕輪総務部長

企業誘致するには、環境整備をしていくのは必要なことだと思っております。ただどの辺りをするかということになりますと、現在、市が進めております潮来インター周辺、それから観光農園用地の跡地等につきましても、優先的に進めて行くということでありまして、ここに

きましては、減免措置を考えていきたいと思っております。内容であります。地域を指定するというところで、奨励金の方法でやっていきたいと今検討しているところであります。条例を九月ごろ制定していきたいと思っております。



開発が進められる潮来インター周辺

# 一 般 通 告 質 問



須田 富次 議員

## 広告掲載について

財源対策の一環として、市の発行する印刷物などに広告掲載を検討したかどうか。

広報誌や窓口で使っている封筒、公用車等市民の目に触れる機会の多いものを広告媒体として提供する。既に、他の公共機関では、郵便局がATMや窓口で使用している客用封筒の一部に広告を載せて歳入増が図られ、市内商工業の振興などに役立つというケースもあります。

将来、地方分権が進み、地方交付税の削減、また廃止といった場合に備え、自ら財源を確保することは大切でありますので、良い案を作成し実行していただきたい。この件に関してお聞かせ願いたい。

できるものは実施していきたい

## 久保木総務課長

本市におきましても、昨年の七月から広報誌に広告を掲載しております。本年の六月現在、七〇万円を収入として上げております。公用車につきましては、民間業者と官庁との区別等もわかりにくいということもございますので、関係機関と十分協議をし、実施できるようにあれば実施していきたい。

その他、すぐにでも実施可能なものとしては、市民課窓口用封筒などは以前から企業より提供を頂いておりますので、すぐにでもやれるものと考えております。各部署において、できるものは実施していきたいと考えております。

## 自警団の組織結成について

安全で安心なまちづくり条例

が制定され一年が経過しました。安全で安心な住みよい地域社会の実現を図る一環として、潮来市におきましてもボランティアによる自警団を組織して、身近な犯罪防止に協力していただけたらどうかと考えます。腕章、笛、チョッキ等を持参して、散策しながら巡回するなど、住民がやりやすい飽きないでやる方法を続けたら、相当の効果があると思います。市内

の一部でも、自警団を組織する話を持ち上がっていることも聞いております。執行部の見解をお伺いいたします。

## 自主的な組織として活動するのが通常

## 久保木総務課長

全国の市町村の事例等を調べてみましたが、確かに市町村で育成をしているような自警団というものも他市にはありません。しかし、このような組織につきましても、自主的な組織として活動するのが通常ではなからうかと考えております。確かに、地域の犯罪を未然に防ぐという点では、大変重要な有効手段であると考えておりますが、今後の推移、状況等を見て対応していきたいと考えております。

## 少子化に歯止めを

平成十五年度の市政方針によると、子育て支援対策として実施しております医療福祉制度については、所得制限枠を撤廃して就学前児童については完全無料化するとともに、結婚対策等については、昨年を引き続き実施して、出会いの場を多く設けながら若者が自然に交流できるような支援するとあります。

す。そこで、我が国の女性一人の出産率は、新聞紙上では一・三％とか一・三二％とかありますが、このままではますます少

子高齢化が進むばかりです。今若くても歳を重ねれば必ず高齢者になってまいります。少子化が進めば、高齢者だけの人間社会となり、支えることができなくなるのは明白であります。この点について、如何にしたら解決できるかお聞かせ願いたい。

## 子育てしやすい環境の整備

## 内田市民福祉部長

少子化対策には、子供を持ちたい人が、安心して子供を育てられる環境づくりが必要であり、職場環境の改善、保育サービスの充実、子育ての経済的負担の軽減などが必要であると考えております。当市におきましては、少子化対策の一環として、男女の出会いの場づくりを結婚対策推進協議会のイベントを通して進めております。また、医療費の就学前までの無料化、保育所の延長保育、幼稚園の預かり保育、津知小学校区域の学童保育、この四月から子育て広場の充実等を実施しております。今国会において、少子化対策の強化を目的とした次世代支援対策推進法等の法整備が予

定されておりますので、法律の成立後、行動計画を策定しながら少子化対策の支援を図ってまいりたいと考えております。

## SARS-CoV-2

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）は、大分終息の方向にむかっているようですが、万一、潮来市に新型コロナウイルスの可能性のある患者が発生した場合の対応について伺います。

## 関係機関と連携を図りながら対応

## 内田市民福祉部長

当市といたしましては、市の広報によるSARS-CoV-2に関する正しい知識を得ていただくための情報の提供、また市民からの相談に的確な対応ができる体制づくりをしております。健康増進課では、職員に対する教育を実施するほか、防疫体制として防疫用器材の準備を進めております。疑い例、可能性例、または確定例の患者が発生した場合には、速やかに潮来市健康管理対策委員会を設置して対策を講じたいと思います。SARS-CoV-2の実施に当たっては、茨城県保健予防課、潮来保健所、水郷医師会など関係機関と連携を図りながら対応してまいります。

# 一 般 通 告 質 問



山口 晃男 議員

## 全国植樹祭について

平成十七年五月に開催されます水郷県民の森での全国植樹祭についてお尋ねします。この事業は、平成七年から平成十七年までの十一年間で、総事業費三八億一千三〇〇万円という県の事業であります。幾つかの点についてお伺いいたします。

一、天皇皇后両陛下は、当日、どこにお泊りになるのか。

二、当日の警備状況は、どのようになるのか。警備の人数など。

三、駐車場は、無償借地または第一・第二・第三駐車場を使用する訳ではありませんが、それで対応できるのか。

四、当日、メイン会場である県民の森での参加者が一万一千人規模になるようですが、千

葉県木更津市で開催された全国植樹祭の参加人数は六千七〇〇人でした。この人数の違いはどのようなことなのでしょう。

五、植樹祭終了後の県民の森の管理は、どこが行うのか。県か、潮来市か。

六、昨年の一般質問でもお尋ねしたことなのですが、植樹祭終了後、大膳池にボートを浮かべることは可能か。不可能か。これはあくまで、潮来市が進めている水辺に親しめる湖沼レクリエーションの場として最適であると思います。

## 県と協議をしながら進めていきたい

鈴木環境経済部長

ご質問の一点目、二点目に関しては、諸般の事情から、情報の公表につきましては、差し控えてさせていただきます。

三点目の駐車場は、無償借地または第一・第二・第三駐車場を使用することになり、潮来公業団地内の榎千代田グラビアの敷地内二・三ヘクタール、県民の森第一駐車場〇・二ヘクタール、調整池の下側にある既存の駐車場〇・二ヘクタールを使用することで、対応が可能である

と伺っております。

四点目の参加者の人数の違いの理由ですが、特定の理由があつての事ではありません。参考としては、過去五年間の参加者を平均しますと一万一千人という事です。

五点目の県民の森の管理の件ですが、市としては管理を県にお願いしているところです。六点多目の大膳池は、水辺に親しめる湖沼レクリエーション場として最適であるが、ボートを浮かべることが可能かということですが、貴重な提案ですので、現在検討させていただきます。

## 牛堀第一小学校跡地利用について

平成十六年四月の牛堀統合小学校の開校に伴い、閉校になる牛堀第一小学校の跡地利用についてお尋ねします。

跡地が、図書館と郷土資料館に決まり、合併記念事業費十億円の投入ということで、大多数の牛堀地区の住民は好意的に思っているようです。今後のことですが、当然複合施設として使用されると思いますが、現在ある建物は壊さないでそのまま使用し、体育館なども今まで通り、剣道・バスケットその他の

スポーツ施設として使用できるよう住民からの要望もあり、この点お尋ねします。

## 十億円の範囲でやっていきたい

箕輪総務部長

牛堀第一小の跡地利用との質問ですが、合併記念事業と跡地利用というようなことで、県からの十億円の事業の範囲の中でやっていきたい。体育館は、残して今まで通り利用していただきます。

## 潮来市将来の人口について

潮来市の人口は、四月一日現在、三万一千六百四〇人。前月比、一一人の減となっております。潮来市の人口フレームは、三万五〇〇〇人、このまま減り続けると三万人を割ることも考えられます。市として、今後どのように対応して行くのかお尋ねします。

## 企業誘致を図りながら努力したい

佐藤企画財政課長

人口を減少させないための施策の一つとして、潮来インターチェンジ周辺、道の駅「いたこ」周辺の流通系の産業、工業

研究系の企業誘致に努力してまいりたいと考えております。

(その他の質問)

◎行政対象不当要求について  
◎水郷潮来牛堀合併まわりの計画の進捗状況について



牛堀第一小学校

# 一 般 通 告 質 問



根本 又男 議員

## 学童保育について

今や夫婦共働きが当たり前の時代、働く女性のための支援策が求められています。本市も昨年四月より津知幼稚園の空き教室を利用して、学童保育を設置して頂いたことに対し感謝いたします。常時利用者数は、二百五十名ですが、親が安心して働くことができると思います。

潮来市は、今年四月「男女共同参画基本条例」が施行され、学童保育の開設は、女性が社会のあらゆる分野に参画することと思えます。

子ども達は、未来の潮来市を背負っていく大事な社会の宝です。社会全体で見守り、学童保育の充実を図りたいと思い、次のことについてお伺いいたします。

- 一、延方小学校にも早急に設置する必要があると思われませんが、取り組みについて
- 二、津知学童保育の内容の充実について
- 学校休業日（土曜日）の学童保育の取り組みについて
- 長期休業中の学童保育の取り組みについて

## 保護者のニーズを把握し検討

内田市民福祉部長

保護者のニーズをよく把握してから、設置場所の確保をしまして、前向きに検討して参りたいと考えております。

津知学童保育の土曜日の取り組みについては、今後の検討課題とし、現在のところは考えは持っていない。

学校週五日制が、子ども達にとって有意義なものになるためには、学童保育によることもなく、家族の触れ合い、地域の人たちとのかわりを通して、豊富な生活体験などを経験させ、子ども達に豊かな心や生きる力を育むことが大切だと思う。将来的には、地域に児童館を設置し、遊びを通して心身ともに健康やかに成長する場になりたいと考えている。

## 不登校児童・生徒の現状と今後の指導について

長期休業中の対応ですが、現在、土日・祝祭日を除く学校休業日・夏休み・冬休み・振替休業日も朝九時から夕方六時まで保育を実施しております。今後も、小学校低学年の児童を持つ保護者の方が、働きながら安心して子育てできる環境づくりに努めます。

不登校児童・生徒とは、何らかの心理的・情緒的・身体的あるいは社会的要因・背景により登校しない、あるいはしたくともできない状況にあるため、年間三十日以上欠席してしまうことをいう。（病気や経済的な理由によるものを除いたもの）

文部科学省の調査によると、国・公・私立の小中学校で、平成十三年度に「不登校」を理由として三十日以上欠席した児童生徒数は、小学校二万六千五百一十一人、中学校十一万二千二百一十一人の合計十三万八千七百一十二人であり、調査開始以来最多となっている。これを全体の児童生徒数との割合で見ると、小学校では二百七十七人に一人（〇・三六％）中学校では三十六人に一人（二・八一％）と

## モデル校指定で減少に努める

岡野教育次長

年間三十日以上欠席している不登校児童生徒の状況は、平成十四年度小学校十一名、中学校三十八名合わせて四十九名です。

今後の指導について、学校関係者は家庭訪問等を行い、学業・生活面で相談にのり、指導援助等を行い、心の教室相談・教育相談室等を活用し連携をとりながら不登校を解消したい。さらに、潮来一中が不登校の解消モデル事業のモデル校として指定を受けております。不登校の解消はもちろん、未然防止を図る対策を展開し、不登校児童生徒の減少に努めます。

## 北浦の水質浄化対策について

北浦の水質は、近年著しく悪化しているように思う。工場排水や家庭排水そして農業排水、

畜産排水等いろいろな要因があると思えます。

私は、次の世代を担う子ども達のためにも、素晴らしい山川の自然を残してやりたいと思っています。そして、いま正に北浦再生のために官民一丸となつて、取り組まなければならない状況にあると思う。北浦再生のため、市として取り組もうとしている事業があるかお伺いします。

## 地域住民と行政が一体で浄化対策を

鈴木環境経済部長

水質汚濁の原因として、複合汚染が主な原因だと思います。今年度、県でも北浦を重点とする施策を展開中で、高度合併浄化槽の普及事業を展開しています。自然環境を創出することを目標として、地域住民と行政が一体となって取り組んでいく必要があると思えます。

## （その他の質問）

◎人口増についての市の取り組み

# 一 般 通 告 質 問



薄井 征記 議員

## 潮来市の農業（転作） について

長期の大不況の中、平成十五年度潮来市一般会計予算が可決され、荒海に船出しました。そこで、農業予算ですが、稲作経営確立推進対策事業、つまり転作です。この予算が、前年度より約四〇〇万円の減です。その上に、転作割当て面積が前年度二七％、今年は二九％とアップです。一〇〇％達成は、厳しい状況です。このような転作率、また予算ですと稲作農家は、ダブルパンチを受けてダウン寸前という状況だと思いません。

積の達成、また、土地改良に対する支援を行ってまいりますと表明をいただいておりますが、この厳しい状況の中で、どのような支援をしていただけるのか伺います。

## 諸般の事情を察しの上 理解を

鈴木環境経済部長

平成十五年度は、前年度より奨励金の額が減額され、割当て面積も二七％から二九％になり、その中で、農家の皆様には大変な苦勞をおかけしていることにつきまして、私どもも重々承知しているところでございます。米価を安定させるために、一人一人が生産調整を実施し、消費者のニーズにあった米づくりをしていかなければならないと思っております。そこで、当市としまして、農林水産費約四億五〇〇〇万円の中から、農業確立推進対策事業に一億三〇〇〇万円、土地改良事業補助等に一億一〇〇〇万円の事業補助を行っております。どうぞ諸般の事情をお察しの上、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

## 市道の舗装について

これは、多くの住民から要望

がありまして、質問します。市道を舗装するには、道幅四m以上の道路でないと舗装できないような説明を聞いていますが、砂利道等で交通量の多い四mに満たない狭い道路ですと、すぐに悪くなり、砂利を敷いたり整備したり経費もバカにならないと思えます。

また、この不況で四m以上の道幅の道路整備も、そう出来ないと考えられますので、狭い道路でも交通量の多い道路は、舗装すれば大型車は通行しないし、そうそう壊れないと思われます。長い目で見ると、結局財政負担も少なくなると思われます。そのような考えから、狭い道路の舗装は出来ないか。

## 原則としては、四m以上

本宮建設部長

平成九年四月一日から、潮来町道路整備実施要綱の基準により、道路幅員四mを原則としまして整備を実施しております。質問の趣旨のとおり、四m以下の道路を舗装の対象にしますと要望も多くなり、さらには市の財政負担も多くなっております。幅員を四mを基準とするこ

とで、道路法やあるいは建築基準法という道路幅員が確保されて

ている状況でございます。同時に、要望等財政負担が調整されているところでございまして、それから、消防車等救急自動車

の出入につきまして、ある程度の幅員が必要だということとです。しかしながら、住居地域で建物の移転あるいは川や水路等移転が不可能な道路等のために、拡幅できないというような場合には、当然、市民の利便性を考慮していく必要があるかと考えております。このような道路は、生活道路として拡幅して整備する道路、これよりは整備する優先順位というのは落ちるとい

うように思います。交通量等を鑑みて、舗装の整備を検討してまいります。議会の開催につきましては、議会の状況を市民の方に知ってもらうためにも、本日のように中学生や区長会その他の団体に傍聴されますよう積極的に広報してまいります。議員ご指摘の日曜日等に開催することも、市民に身近なものとする有効な手段であるかと考えております。しかし、日曜日開催ということになりますと、潮来市議会会議規則第十条に、市の休日は休会と規定されておりますので、この辺が問題として残ってくるのかと思います。市民サービスを考えたと

## 住民サービスの観点から 日曜議会や夜間議会を

日曜議会又は夜間議会を開催して、住民サービスをしてはどうかでしょうか。また、日曜・夜間議会だと、執行部は休日出勤になりますか、可能でしょうか伺います。

## 議会で決定ならば 執行部は従っていく

久保木総務課長

（その他の質問）  
◎永山地区の火の見鉄塔の早期解体を



# 一 般 通 告 質 問



芝田 貢 議員

## 治水対策の排水機場はどこへ

近年、地球の温暖化により、局地的に集中豪雨が発生しております。潮来市でも、平成三年に、大雨による洪水の被害がありました。治水対策なくして、地域の発展はありません。そこで、主体であります国・県との話し合いの中で、大型排水機場の位置はどの様になっているのか伺います。

## 国土交通省の明確な答えがない

今泉市長  
国・県・潮来市の三者による前川連絡会の中で、建設場所の決定を強く要望しているが、国土交通省から明確な答えがありません。

## 再質問

米島側へ作るとなると莫大な経費と労力が必要となる。常陸利根川側に造る考えはないですか。

## 今泉市長

国は、米島側に建設するという意見であり、市も米島側に要望しています。延方千拓の南幹線用水路を一級河川として前川と一体化し、昔の前川のようにするのが理想であります。

## 潮来二中改築について

潮来二中改築工事は、平成十六年・十七年で建設すると言われていました。なぜ、当初予算で実施設計費を計上しなかったのか伺います。

## 平成十六・十七年で校舎十八年で体育館

## 今泉市長

仮に、プレハブの校舎を建設しながら改築すると、ほぼ二年で終了しますが相当な投資になります。十六・十七年で校舎を、十八年で体育館を建設する方針です。当初予算では、耐力調査の予算は計上しました。三月議会で非常に厳しい財政状況の中、予定どおり二中建設がで

きるかどうか、前提として行財政改革を進め、財源確保をして計画を進めるということであります。

## 再質問

財源は、どうなっていますか。

## 箕輪総務部長

事業費は、確定しておりません。これから実施設計をします。義務教育国庫補助金と起債を充当します。

## 再々質問

建設に当たり、先生・生徒・PTA等の意見を反映させる考えはありますか。

## 渡辺教育長

保護者・学校、使う側の意見を最大限設計等々の中に組み入れて、使いやすい、立派な学校づくりに総意を集めていきたいと思えます。

## 牛堀地区小学校跡地利用整備計画について

牛堀第一小と支所の利用については、牛堀町公共用地跡地利用構想として、平成十二年に作成されている。その中で、コミュニティの拠点づくり、水辺の学校等とあります。今回、

記念事業として図書館建設となりましたが、その整合性について伺います。

## 地域の交流拠点として

## 箕輪総務部長

公共施設整備基本構想では、牛堀第一小は地域の交流拠点として交流機能を持たせた児童館、図書館等となっております。

## 再質問

合併建設計画では、図書館建設は潮来町で位置付けされているが。

## 箕輪総務部長

事業の選択肢の範囲のこととあります。

## 再々質問

合併記念事業として文化センターから図書館に変更されたが、市民の理解が得られるか。なぜ、文化センターでは、ダメだったのか伺います。

## 箕輪総務部長

文化センターと庁舎を一体的に作るという答申（庁舎等建設検討委員会）があり、これについては、財政が安定するまで先送りします。

## 斎場について

慈母観音、民間業者、JANAなどがたとの話し合いの経緯について伺います。

## 平成十五年度中の実現に向けて努力している

## 今泉市長

観音様の講堂に着目し、有効利用という中で、農協、葬祭業者の方々には働きかけをしました。慈母観音の方でも実行委員会を組織し、十五年度中に実現に向けて努力する報告を頂いています。行政側としても周辺の整備については考えています。



潮来第二中学校

# 一 般 通 告 質 問



今泉 利拓 議員

**納税組合長の手当は、減らすな！**

市に納税組合は幾つあるのか。何世帯が加入し、全世帯の何パーセントにあたるか。納税組合長が集めてくれる税金はいくらで、全税収の何パーセントを占めるのか。先頭に立って税金を集めてくれる納税組合長の手当では減らすべきではないか。元に戻すべきではないか。

**減らしたままで**

**箕輪総務部長**

納税組合は三三三組合。加入世帯は四九一七世帯。加入率は四七・九六％。納税組合長を通じて納められた額、平成十三年度、十三億六千三万三千元。十四年度、十三億六千五九万二千円。平成十三年度・十四年度共全収税の三二・五％になる。一般税完納の場合、二％は組合

に、さらに一％を組合長に支払っていた。この他、納税組合長に年間一万六千円。さらに戸数割で一軒につき四五〇円を払うということになっているが、平成十五年度には、一般税完納の場合、組合長に支払われていた一％を無くしたということ。

**再質問**

納税組合は大事にしなくてはならない組織だ。組合長手当では減らすべきではない。再度お尋ねする。

**箕輪総務部長**

鹿行管内は、一般税完納の場合、二％支払うという形になってきた。口座振替制に切り替え、納税組合を無くしていく方向づけになっている。

**潮来二中。校舎、体育館、全て建替え。**

**「耐力度調査」は必要ない。**

**潮来二中の校舎、体育館を全部壊して建替える。実施設計費**

二千七〇〇万円が議決された。市長は、昨年「二中は建替える」と発言し、五月十三日に正式に決定した。「二中がどれ位痛んでいるか調査する」「耐力度調査をやったのは、六月七日と十四日。（結果は八月でないと出ない。）全面建替えを決め

た後、何故耐力度調査（二五〇万円かかる）を改めてやるのか。必要なのではないか。

**文科省の補助をもらうために**

**渡辺教育長**

二中の耐力度調査をすませ、その結果を見て、全て建替えを決めるのが筋。指摘の通り。順序が……という問題はあがあるが、文科省の補助をもらうためには、耐力度調査をしなくてはならない。

**「人と自然にやさしいまちづくり」  
「あつたかいまち」とは**

市長は、「人と自然にやさしいまちづくり」を政治理念とされている。具体的にどういう事か。また、あつたかいまち「いたこ」という言葉を良く聞く。これは政治理念ではないのか。

**「人と自然にやさしいまちづくり」正に政治理念**

**今泉市長**

水と緑を大切にすまちなづくり。自由で活力のあるまちなづくり。一人一人を大切にすまちなづくり。人々が仲良く暮らす信頼のまちなづくり。潮来市の特色である水と緑、自然というものを大事にしながら、そこに住む人々が安心して、そして誇りを

持てるまちなづくりということ。

**再質問**

何年度にどういう事を行ったから、「人と自然にやさしいまちづくり」なのか。具体的に説明を。

**今泉市長**

教育、福祉面でいろいろやっている。

**再々質問**

前川の治水整備こそ、市長の「人と自然にやさしいまちづくり」の基本（政治）理念に沿ったものである。前川沿いに住む一般市民は、どんなに素晴らしい（絵）を見せられても喜ばない。いつまた、大雨で家が水びたしになるのか。まずこの事が心配だ。大雨が降っても水が溢れない川。前川がそうなる事こそ心から願っていると思う。市長は、土地改良区の橋本理事長と、前川の水を排水する大型の排水機場を「米島を作る」という事で合意していると私には答弁していた。然し、芝田議員から、「潮来ホテルのそばに排水機場を作る方法もあるのではないか」と質問が出たら、「それも一つの方法だ」と答える。どこに本心があるのか。

**今泉市長**

排水機場をどこに作るかは、まだ正式に決まっていない。

**要望**

「前川を日本一の川にする」市長の言う事は、余りにも現実と離れ過ぎていてのではないかと。前川を、そして周辺をきれいに整備する。市民は皆賛成だと思ふ。然し、水の清らかさ、川沿いの景観、どれをとってみても全国には潮来の前川よりもっと素晴らしい所が数え切れない位あると思ふ。私は、そこに住む人達の願いを込めた、その土地に合った能力に応じたまちづくりこそ進めるべきだと思ふ。余りにも「言葉だけが、ひとり歩きする行政」は慎まなければと思ふ。潮来の町長、市長として九年目。今泉和さんに、「言葉よりもまず実行」「夢よりも形・姿の見える政策の実現」を強く望みたい。

**（その他の質問）**

- ◎経済特区について
- ◎観光農園を舞台にした複合団地研究会について
- ◎潮来インターチェンジ周辺の土地利用について

# 一 般 通 告 質 問



沼里 潤三郎 議員

## 潮来市財政難・ 税収減の原因は何か

これからの潮来の財源増収入増は、どうしたら図る事が出来るか。これほどまで潮来の財政が苦しくなったのは、まず政府の支出が劇的に減った事。不況深刻化で税収が激減している事。公債費（借金）が膨らんで償還が大変になった事。があります。合併の条件として、合併したら財政基盤を強化する。合併後、十年間は地方交付税は減らさないという約束を破り交付税は合併計画の平成十五年度を十億円以上も下回り、その他の政府支出も大きく減らした小泉政府の欺瞞政策にある。政府は、なぜ約束まで破って当然地方自治体に支出すべき金を減らすのか。今国地方合わせて約七〇〇兆円（二〇〇二年末六九三兆円）に膨れ上がったばく膨大な借金の処

理の一部を地方の住民に負担を押し付けようとする所にある。住民負担増で甘い汁は全て巨大資本が吸い苦汁は一般庶民が飲む。これが小泉改革の本質である。十年前は三六兆円の借金を約二倍にも膨らますデタラメ政策が世界のどこにありますか。第二次大戦後戦争の体験を踏まえて、厳しく禁じてきた赤字国債を発行し、地方には財源を保障せず地方債（地方の借金）でドンドン仕事をやらせ、日本一国の公共事業がアメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・カナダ等主要先進六ヶ国の公共事業費を上回るという全く非常識なバカな借金づくりで十年以上も励んできた。今でも川辺川ダム等多くのムダなダム計画を推進し、諫早湾のギロチン、空港港湾計画、海峡横断大規模プロジェクト計画（十兆円かかる）を推進し借金を膨らませている。一方大資本には国政を挙げて便宜を図り、税金をまけ、（一人首切れば一〇〇万円の減税等）経済の原理にそむく利得行為で巨大資本が自ら作り出した不良債権処理のため、七〇兆円もの枠を設けて巨大銀行へ公的資金の投入を図り、勝手に基準を変えて「りそな」銀行の危機をつくりこれにも二兆円の公的資金投入をするなど借金をいやが上に膨らます政策を進めてい

る。そのための我々の負担増だ！もう一つは、不況の深刻化がある。不況は生活水準に対する消費の落ち込みで起る。バブルがはじけて以来何年経済の停滞が続いている。しかも最近の不況はひどく我が市でも倒産廃業が続出している。勤労者世帯の実収入は激減し、国民の所得減が止まらない。不良債権の処理加速を進めれば中小企業への貸しハガシが起る。中小企業への銀行の貸し出しは激減している。GDPの六〇％以上が一般消費である。また日本の企業の九九％は中小企業であり、そこに働く者は八〇％を占める。この消費を伸ばす様な所得増を図る様な政策を取らなければ本格的景気回復はない。またリストラは規制し、空洞化政策も規制し、在来の産業構造を守り発展させ、ドイツ並みの労働時間制で（時短で）七〇〇万人〜八〇〇万人の雇用増を図り、社会保障制の確立で将来不安をなくし、負担増をなくして消費の拡大を図れば景気を回復させることは出来る。今巨大資本は莫大な利益を上げているのに景気は良くならず当市の税収増の見込みもないではないか。年金改善も不景気加速の要因ではないか。

## 企業誘致で税収の安定を

景気の先行き不透明。個人の消費低迷、失業増加、個人所得の減で税収が減っている。生活保護者は増えている。市では企業誘致で税収を安定させたい。

箕輪総務部長

## 三位一体「改革」は 地方自治の大縮小では

政府の地方分権改革推進会議がまとめた三位一体改革は、次のようなものである。①国庫補助負担金の削減・廃止②地方交付税の見直し（削減・廃止）③自治体間で財源の融通。地方共同税。④公債費の交付税措置分を減額（または無くす）。宣伝の看板では、地方に税源を移譲して地方分権を図るとしているがとんでもないデタラメである。国は地方へ出す金を徹底的に減らし、自己負担の原則化、徹底的に財政規模の縮小を図り、住民には新しい税制で負担増を図れというものを「税源移譲」と呼んでいる。これは憲法で定められた地方自治の原則をも全く無視した驚くべきものである。憲法二五条第二項「国は全ての生活部面について社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」国庫補助負担金の八割は、福祉教育関係である。あまりに酷

## 税源の移譲は望む

地方分権推進のため、税源の移譲は望む。

箕輪総務部長

## 学童保育を全小学校に

津知小で学童保育が取り組まれて大変好評を博している。今の父母の働く条件を考えるとどの地区でも同じようです。やはりお母さん方の要望は全小学校で取り組んでもらいたいという事です。またお母さん方の働く条件に合わせた弾力ある対応を望む。これは少子化対策としても欠かせないものではないでしょうか。

## 保護者のニーズを把握し 設置場所の確保を検討

津知小では二五名が利用している。保護者のニーズを把握して設置場所の確保など検討して進めて参りたい。

内田市民福祉部長

## （その他の質問事項）

- ◎津知幼稚園の二年保育を！
- （答）実現に向け努力したい
- ◎本場に日本農業を守る農政を！

# 議会議員活動日誌（4～6月）

4月1日	教職員辞令交付式	議長
4日	区長会総会	正副議長・各委員長
6日	日の出地区三世交流祭り	地元議員
	潮来公民館さくら祭り	議長
	権現山さくら祭り	関係議員
7日	各市立小学校入学式	地元議員
8日	各市立中学校入学式	地元議員
9日	行財政改革調査特別委員会	特別委員
	各市立幼稚園入園式	地元議員
10日	羽成ファッションスクール入学式	議長
	百里基地周辺協力会	副議長
16日	沖縄県下地町議会来庁	議長
	政経懇話会	副議長
18日	教育福祉委員会協議会	教育福祉委員
19日	JANAがた総代会	議長
20日	清水次郎長会チャリティーカラオケ	議長
21日	全員協議会	全議員
	麻生地区農政改良協議会監査	議長
22日	社会福祉協議会理事会	議長
23日	津知地区区長会役員会	議長・地元議員
24日	高齢者クラブ総会	議長
	おどりの響演実行委員会	関係議員
25日	商工会青年部総会	議長・環境経済委員長関係議員
	あそう温泉「白帆の湯」竣工式	議長
	広報委員会	広報委員
	民生児童委員総会	議長
28日	水郷潮来観光協会総会	議長・環境経済委員長
	委員長会議	正副議長・各委員長
30日	歴史文化推進協議会総会	関係議員
5月1日	環境経済委員会	環境経済委員
6日	市町村長・議長会議	議長
	たばこ販売協力会監査	議長
7日	行財政改革調査特別委員会	特別委員
	鹿行政経懇話会	広報委員長
8日	麻生地区農政改良協議会総会	議長
	佐賀県白石町議会来庁	議長
	潮来市PTA連絡協議会総会	議長
9日	総務委員会	総務委員
10日	交通安全母の会総会	議長
	潮来ばやし保存会総会	議長
11日	全国一斉ウォークラリー大会	関係議員
12日	大分県杵築町議会来庁	議長
	環境経済委員会協議会	議長・環境経済委員
13日	悠々塾開校式	議長
15日	沖縄県伊良部町議会来庁	議長
	たばこ販売協力会総会	議長
	花菖蒲協会総会	議長
16日	交通安全街頭キャンペーン	総務委員長
	ボランティア連絡協議会総会	副議長
	子供会育成連合会総会	教育福祉委員長
	建設委員会協議会	建設委員
17日	千葉県木更津市全国植樹祭（～18日）	副議長・関係議員
	潮来第一中学校体育祭	教育福祉委員長・地元議員
	日の出中学校体育祭	総務委員長・地元議員
18日	身体障害者福祉協議会総会	教育福祉委員長
	清掃大作戦	全議員

5月19日	環境経済委員会研修視察（～21日）	環境経済委員
	教育福祉委員会	議長・教育福祉委員
20日	青少年相談員全体会	教育福祉委員長
	市長杯クローカー大会	議長
21日	認定農業者総会	議長
	郷土史研究会総会	議長
22日	県北鹿行市議会議長会	議長
	麻生地区交通安全協会総会	総務委員長
	生産調整推進協議会	関係議員
23日	全員協議会	全議員
	霞ヶ浦水郷流域下水道整備促進協議会	関係議員
	交通安全協会潮来支部総会	議長
24日	トライアスロン大会開会式	関係議員
25日	トライアスロン大会	関係議員
26日	議会運営委員会	議長・議会運営委員
	県市議会議長会総会	議長
27日	行財政改革調査特別委員会	特別委員
	潮来商工会総代会	議長・関係議員
28日	シルバー人材センター総会	議長
	沖縄県大里村議会来庁	議長・総務委員長
	沖縄県東風平町議会来庁	副議長
	潮来市青少年育成市民会議総会	議長
29日	南部工業組合総会	議長・環境経済委員長
30日	環境経済委員会協議会	議長・環境経済委員
	社会福祉協議会理事会	議長
6月1日	あやめ祭開会式	全議員
	ろ舟安全祈願	議長
3日	鹿行流域水道通水式	議長・建設委員長
4日	関東市議会議長会（～5日）	議長
8日	あやめ祭剣道大会	議長
	津知地区子ども会球技大会	地元議員
9日	第2回潮来市議会定例会（～19日）	全議員
11日	鹿行政経懇話会	建設委員長
12日	あやめサミット（～14日）	関係議員
14日	潮来市議会主催ろ舟無料乗船	全議員
18日	花菖蒲審査会	副議長
	歴史文化推進協議会幹事会	関係議員
20日	防犯連絡協議会総会	議長
22日	津知地区レクリエーション大会	地元議員
24日	教育福祉委員会学校訪問	教育福祉委員
	東関東自動車道期成同盟会総会	議長
25日	富山県入善町議会来庁	議会運営委員長
	栃木県上三川町議会来庁	副議長
26日	教育福祉委員会学校訪問	教育福祉委員
	県民の森検討協議会総会	関係議員
	花菖蒲表彰式	議長
	歴史文化推進協議会講演会	全議員
27日	麻生地区交通安全対策協議会総会	議長
	国保運営協議会	議長・関係議員
28日	日の出地区ふれあい会食	議長
29日	市民レガッタ	関係議員
30日	鹿行広域市町村圏事務組合議会	関係議員
	研修視察（～2日）	総務・教育福祉委員
	総務・教育福祉委員会連合協議会	特別委員
	行財政改革調査特別委員会	

# 行財政改革調査特別委員会報告

潮来市議会において、去る三月定例議会で議員発議のもと13名の議員からなる「行財政改革調査特別委員会」が設置をされました。これは、住民の代表者・奉仕者としての議会と執行部とが連携を取ることで、現在の市の行財政事情を乗り切り、本来のまちづくりの根底となす住民福祉向上の再構築を図ろうという考えからです。

幅広い調査項目の中から、特に潮来・牛堀合併の際に両町の一体化と地域の発展、そして新生潮来市の建設を目指して策定された「合併まちづくり計画」(平成12年策定)と、平成14年4月に整備された「潮来市行財政改革大綱」の2点に絞り込み、住民の立場から行財政運営の簡素・効率化についてこれまで4回にわたり協議を重ねてまいりました。

第1回の開催において、この特別委員会の趣旨・目的・調査項目が確認されたうえ、

- ①現在の財政事情を招いた原因追及とこれまでの進捗状況について、
- ②各種団体への補助金等削減の問題について、
- ③今後関わってくる住民への負担増の問題、等々について調査されました。

第2回の開催においては、調査項目の一つ「潮来市行財政改革大綱」に対して、

- ①今後期待出来る特定財源の確保について、
- ②企業誘致等へ向けた取り組み策について、
- ③職員数の削減と今後の推移について、
- ④公共料金値上げに伴う住民への説明責任、等について調査され、

二つ目の調査項目「合併まちづくり計画」に対しては、合併建設計画の主要4事業〔(1)市庁舎建設、(2)合併記念事業、(3)潮来二中建設、(4)公共施設跡地利用〕の見直しについて調査がされました。

また、第3回、第4回と二回にわたり、特にこの主要4事業について、これまでの事業経過、今後の方向性、優先度、計画の見通し等について、各委員からさらに一歩踏み込んだ意見が数多く出され会議は進行しました。

今日地域社会は、少子高齢化社会の進展や質の

高いきめ細かな行政サービス等の需要の増大、そして地方分権の進展と併せ著しく多様化し、日々変革・激動する経済社会情勢を迎えている中で、真に住民が求めている施策を実施し、将来の有効性を考えながら事業の推進を図り的確に対処する必要があります。

議会としても、潮来市の行財政運営や事業の実施が適正・公平・効率的に成されているかどうか監視するとともに議論を重ね今後も調査を展開してまいります。そして、最小経費で最大の効果を目指し行政の質的転換に取り組み、行財政の効率化・健全化を推進し基盤の強化を図りながら、潮来市の真の豊かさと活力ある発展を実感できるよう、住民の代表者である議会と行政とが一体となり積極的に改革に取り組むことが今求められています。



	氏名	役職		氏名	役職
1	小峰 義雄	委員長	8	松崎 光三	委員
2	須田 富次	副委員長	9	芝田 貢	〃
3	藤崎 忠徳	委員	10	栗飯原治雄	〃
4	原 浩茂	〃	11	高橋 治	〃
5	杉本 俊一	〃	12	黒田 茂男	〃
6	塙 信一	〃	13	小沼 昭郎	〃
7	小沼 由男	〃			

# 環境経済委員会研修視察報告

期 日 平成15年5月19日(月)～21日(水)

研修地 岐阜県古川町、白川村

内 容 まちづくりについて

参加者	委員長	杉本	俊一
	副委員長	藤崎	忠徳
	委員	吉川	菊夫
	委員	塙	信一
	委員	羽生	征司
	委員	酒井	信一
	委員	高橋	治
	委員	中野	庄吾

## 研修内容

今回の環境経済委員会の研修視察は、景観条例を整備し住民が主体となった町づくりを展開している、連続テレビ小説「さくら」の舞台となった岐阜県古川町と世界遺産にも指定された合掌造りで名高い白川村を訪問しました。

古川町は、「起し太鼓」という祭り文化の中から、コミュニティの結びつきが日常生活に深い関わりを持ち、組織の中で統一協力して物事に対処するという精神的風土がやしなわれてきた。町を歩くと、統一された素晴らしい町並みがあり、商店街はひっそりと佇んでいる。この町は、自然発生的偶然に生まれたのではなく、住民の強い意志とコミュニティを守ろうとする精神によって作り上げられてきた。この町には、生活があり、町並みと共に町の人情から語られるのは、ここに長い伝統を受け継いだ人々が住んでいるからである。町を美しく維持するためには、日常生活の努力が必要になる。この町の景観のシンボル「瀬戸川」は、町の中心を1.5m幅で、350mにわたり、鯉が優雅に泳いでいる。鯉が流出しないように、12ヶ所に鉄柵が設けられ、ここに引っかかるゴミを住民が自主的に周辺の町内で分担して、朝夕2回、取り除いている。左官組合の人は、水路の補修を、大工組合の人は川にかかる小さな橋の

欄干を付替え、ベンチを作る。みんな自分達の手弁当でやる。祭りのゴミ掃除も、住民が自主的にやってきた。かつて、古川祭の後、大量のゴミが出たことがあり、町内からボランティアを募ったところ、たちまち120人が手をあげて「美化奉仕組」が結成されたという。このようにボランティアでコミュニティのために一肌脱ぐのは、古川気質の発露だそうだ。古川の人々は、物の豊かさより心の豊かさを求めている。飛騨古川ふるさと景観条例の目的は、歴史と自然にはぐくまれた古川らしい良好で落ち着きがある都市景観を保全し、育成し、及び創出することにより魅力的なまちづくりを進め後世に伝えていくとあり、景観形成地区を7地区指定し、届出、助成、審議会等細かい基準を設けている。荒城川再生計画が地域住民と行政の共同作業により、コンクリート護岸をかつての石積み護岸や桜並木を再生しようと「川づくり町づくりワークショップ」という住民が計画の段階から参画し論議を重ねてきた。また、再生された景観は、地域住民や「荒城川を美しくする会」などのボランティアにより次世代へ受け継がれていくこととなっている。行政、自治会、地域住民、企業、その他により地域の問題提案をどこが積極的に解決にあたるべきか。みんなで話し合う機会を設け実行に移す行動力に感動しました。今後、潮来でも大いに考え推進すべきと思う。

霊峰白山の山懐に抱かれる静かな山里に佇む白川村の白川郷は、合掌造りの民家集落として知られ、平成7年にユネスコの世界遺産に登録されたことから、世界的にも注目を集めている。110棟余りの合掌造り家屋が現存し、59棟が母屋として生活が営まれている。各家のわらぶき屋根を住民と他から集まってくる数多くのボランティアによって、葺かれている事を聞いて助け合いの大きさを感じた。

今回の研修の成果を今後の潮来市の観光・町づくりの活性化につながるよう委員会としても努力していきたい。



# 教育福祉委員会研修視察報告

期 日	平成15年7月3日(木)～4日(金)
研修地	京都府宇治市 市立小倉小学校 小倉ディサービスセンター
内 容	学校教育と福祉施設の共生について
参加者	委員長 原 浩茂 副委員長 山口 晃男 委員 薄井 征記 委員 加藤 政司 委員 高塚 直 委員 沼里潤三郎 委員 黒田 茂男 委員 小峰 義雄

## 研修内容

今回の教育福祉委員会の研修視察は、少子高齢化の進む中、児童・生徒数の減少で、増え続ける空き教室を全国ではじめて福祉施設に転用し、「学校教育と福祉施設の共生」を展開している京都府宇治市立小倉小学校を訪問しました。

小倉小学校は、1970年代、児童数約1,400人を抱えるマンモス校であったが、その後、1980年代後半より少子化に伴い児童数が減少に転じ、1997年(平成6年)には、約800人にまで減少し、空き教室がかなり数に上った。当時、福祉施設の整備を計画していた宇治市が、この空き教室に着目し、福祉施設への改造が計画されたのが「学校教育と福祉施設の共生」の始まりである。

宇治市は、平成5年に国の地方分権特例制度の適応市町村(パイロット自治体)の指定を受け、平成6年に小倉小学校の北校舎の空き教室(3階建・12教室)を改造して、老人福祉施設の設置(1億9,000万円)及び学校教育施設の充実を図るため事業(7,100万円)に着手しました。1階はディサービスセンターに、2階は在宅介護支援センター、介護者教育室、デイホームなどに新しく生まれ変わるとともに、3階はコンピューター教室や視聴覚室、多目

的教室に改造されました。平成7年度よりそれぞれの福祉施設が開所し、「学校教育と福祉施設との共生」が始まり、本年で9年目をむかえます。

この間、小学校では、「豊かな心を育む」ため、「心の教育」を推進し、福祉施設との共生という学校の特色を利用して、お年寄りの負担にならない範囲で授業に協力していただいているとのこと。毎週金曜日のクラブ活動の時間では、将棋クラブの児童がデイホームを訪れ、有段者のお年寄り達に指導を受けたり、また、総合的な学習の時間を利用して、ディサービスセンターに通うお年寄り達との1対1の少人数による対話による交流を行っています。年間を通して、小学校・ディサービスセンターの各行事(運動会等)に、児童・お年寄りそれぞれをお互いに招待し合い、交流を深めている。こうした授業の取り組みを背景として、日常生活の中からは、自発的に手紙を持ってセンターを訪れる児童や昼休みを利用してセンターに遊びに来る児童も多くなっているそうである。

当初、改築にあたっては、お年寄り達との間にトラブルが起きないかと懸念する声もあったものの、案ずるより産むが易し。「元気な子供たちの声が励みになる」と騒がしさをむしろ好む方や「また母校へ通える」と半世紀以上前に同校を卒業したお年寄りがデイホームやディサービスに足を運んでいるそうである。

小学校の先生及びディサービスセンター等の職員においては「学校教育と福祉施設の共生」という目的を持ち、やりがい・生き甲斐を感じ仕事に励む姿、熱意等が強く感じられ、これらも「学校教育と福祉施設の共生」がうまくいっている一因なのであろうと思う。

潮来市においても、今回の研修の成果を少しでも反映することが出来るよう委員会として努力してまいります。



# 建設委員会研修視察報告

期 日	平成15年7月7日(月)～8日(火)
研修地	埼玉岡部町、群馬県藤岡市
内 容	今後の都市基盤整備について
参加者	委員 長 小沼 由男 副委員 長 大崎 武夫 委 員 内田 正一 委 員 今泉 利拓 委 員 小沼 英明 委 員 大久保英雄 委 員 芝田 貢 委 員 粟飯原治雄

## 研修内容

先進地の実情を研修視察し、都市行政に対する理解と認識を深め今後の委員会運営と議会の在り方に資することを目的に、埼玉県岡部町と群馬県藤岡市の二市町を建設委員会8名で訪問して参りました。

岡部町は人口約18,000人で肥沃な大地を生かした全国有数の野菜の産地です。道路の整備状況を見ると、高速道路へのアクセス向上、国道バイパス・県道・広域幹線道路等の促進と本市と似通った条件の中で、生活道路については今後景観や福祉に配慮し快適・安全な環境の充実に努めていくとの事でした。また住民の利便性を図るため現在駅周辺を重点的に整備しており、歩道整備をH14・15年度で702m実施するとの事です。また来年度以降に850mの道路整備を予定し、さらに踏切りの改良工事と駅前に自由通路・広場等を設け交通公園の整備を図っていくとの事でした。

水道事業については、人口増を想定し県営水道等水源の確保、更に給水施設の整備・拡充により安定給水の確保を目指していくとの事。また下水道に至っては、事業の徹底見直しと補助金合理化の観点から他の施設との役割分担を明確化し、コスト・時間管理の厳格化を図り事業効果が発現するよう今後努めていくとの事でした。さらに農業集落排水事業については、本市の大生原地区の施設と同規模で

あることが分かりました。

午後に整備状況を確認ということで駅と道の駅周辺を視察いたしました。効率化という観点から、H8年に国道バイパスから駅に通じる結節点に道の駅を整備し、周辺の基盤整備と合わせ一体的に市街化区域を形成しています。進捗が早く財政面が豊かなのは、H13年12月に首都圏初の場外船券売場が民間施設として建設され、以後地元への経済効果が波及しているとの事でした。オープン直後3ヶ月で5千万円、14年度は市の予想を上回り1億4千9百万円、そして今年度は1億6千万円を見込んでいるのには驚きました。これらが環境整備費、教育費、福祉費として町の財源の一端を担い、さらに地元雇用や施設周辺へ潤いをもたらしているとの事です。開設後は環境・交通・青少年への影響もなく、今後さらに地元との相乗効果が期待できるとの事でした。

二日目に訪ねました藤岡市にある「道の駅ふじおか」は、関越・上信越・北関東自動車道との結節点に位置し、この条件を生かして市の顔・群馬県の玄関口として高速道・一般道そして地域住民の利用者を想定してH12年4月にオープンした関東初のハイウェイオアシスです。蘭の花で有名なことから「ららん藤岡」と呼ばれ、花と緑の展示館から観光物産館・農産物の直売、そしてテナントのグルメコーナーやイベント広場、さらには子供向けのミニ遊園地まで整備されておりました。5つの駐車場をもち、高速バス停の乗車場としても利用され、小さな街並みを思わせる感がいたしました。

今回の研修視察を通して、少子高齢化社会の進展や多様化する住民のニーズ、地方分権の推進と自治体を取りまく様々な問題の中で、一つの事業において多面的な見地に立ち将来を見据えて対処することが、住民の立場にたった身近なまちづくりにつながると感じました。全国の自治体が財源不足で悩み、事業の効率化と住民への負担増で苦しみ展開している中で今後何らかの財源確保措置を行い行政の基盤づくりとしていくことも必要と感じました。





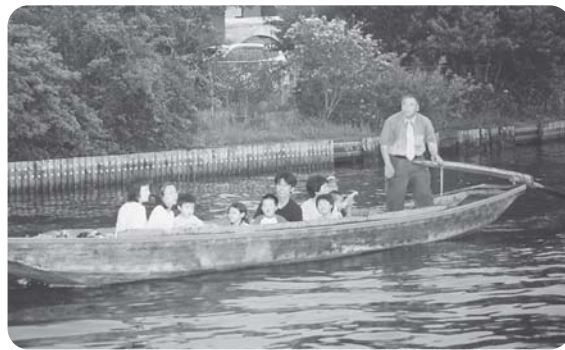


市議会主催

# 無料ろ舟の運行

6月14日（土）、あやめ園ライトアップ開催時において、今年も潮来市議会主催の無料ろ舟の運行を実施いたしました。

当日は、小雨にもかかわらず、市民・観光客の方々（約110名）に乗舟していただきました。今回で5回目になりますが、また来年も行つ予定でありますので、よろしくお願いいたします。



## 乗舟者の声



日の出 保坂さん

日の出 保坂さん

初めて、東京のおばさんと二人でろ舟に乗った。船頭さんが終始和やかでとっても良かった。また来年実施してほしい。

日の出 宮崎さん・杉本さん

乗り心地がよく最高でした。

千葉県市川市 赤池さん

三十数年来お付き合いのある方々との旅行で、きれいに咲くアヤメを観賞することができました。思いがけずに、ろ舟にも乗せていただき、心暖まるハーモニカの演奏やお心使いは、とてもありがたい、明日もまた思いで深い一日をこの茨城でおくれたらと思っています。



# 市民ボート大会準決勝進出

## 小見川町民レガッタ壮年の部 **3**位入賞

6月29日（日）に行われた市民ボート大会一般の部に、議会選抜A・Bの2チームが参加しました。Aチームは、準決勝まで進出しましたが惜しくも涙をのみ敗退しました。

また、7月20日（日）に行われた千葉県小見川町民ボート大会壮年の部に、議会選抜チームが参加しました。予選を順調に勝ち進み、決勝では見事3位に入賞することができました。

今年度は、9月に愛知県東郷町で行われる全国市町村対抗交流レガッタ大会に向け、4月より練習を重ねてまいりました。その成果が、市民ボート大会・小見川町民ボート大会で発揮でき、順調な仕上がりをを見せております。

昨年の全国市町村対抗交流レガッタ議員の部では、準優勝という成績を取めたので、今年は「優勝」を目標に更に練習を重ね頑張ります。みなさんのご声援よろしくお願いたします。



Aチーム（市民ボート大会）



Bチーム（市民ボート大会）



議会選抜チーム（小見川町民レガッタ）



小見川町民レガッタ 3位



五月十八日、清掃大作戦に議会議員も参加しました。あやめ祭りの際に駐車場となる市営駐車場の清掃を行いました。まだまだゴミの出し方において、マナーが守れてないようです。みんなで、きれいな「まちづくり」に努めましょう。

**清掃大作戦**

# 議会を傍聴して



潮来第二中学校 三年

鬼澤 幸愛さん

私達は、六月十五・十六日の二日間に分かれて、市議会を傍聴しました。最初、私は議会の傍聴の意味が、よく分かりませんでした。しかし、先生の話を聞いて、私は、テレビで見る国会の様子が頭に浮かんできました。

そして、当日。私達が傍聴席で待っていると、議員さん達は、不安そうな表情の私達に、優しく声をかけて下さいました。

いよいよ議長の合図により、議会が始まりました。議員さん達の表情は、真剣そのものでした。私が傍聴するにあたって、知りたかったことが、二つあります。

まず一つは、議会の進め方

です。最初に議長が話をします。

次に、議長が質問者を指名します。質問者は、演壇で質問をし、それに対して答弁をするという進め方でした。質問者も答弁する人も、自分の意見がしっかりとまとまっていて、何が言いたいのか、とても分かりやすく、勉強になりました。他の議員さんも、出された意見をパンフレットなどに書き込んでいて、潮来市をより良くするため、の思いが、しっかり伝わってきました。

そして、二つ目は、二中の改築事業についてです。私も、二中が改築されることは、知っていました。実際どこまで進んでいるのか、知りたかったからです。これは、教育次長さん

が、答弁をしました。潮来二中

は、校舎だけでなく、プールなども新しくしてしまおうそうです。私は、約三年間の思い出がたくさんつまったこの校舎が、改築してしまうと、少しさびしくなると思いましたが、その分過ごしやすくなるというメリットもあると考えました。それに、こんなに潮来市の事について考えてくれる人達がいるなら、きっと良くなるだろうと思いました。

私は、市議会を傍聴して、潮来市の様々な事について、こんなにも考えてくれる人達がいてうれしくなりました。私も、市を良くするために出来る事を、潮来市民として、しっかり考えていきたいと思えます。





台上戸区長 荻 正 志 さん

平成十五年度第二回六月定例議会、大変御苦勞様でございました。数多くの議案について、慎重審議を重ねられましたこと、誠に敬意を表します。

私も、この度、区長の要職を拝命致し、区民の皆様方の生活向上と潮来市の発展を胸にいただき、行政の一端に加えさせていただきます。ありがとうございました。

四月四日、初めての区長会の総会にあたり、市長より出た言葉は、我が潮来市における財政事情が大変厳しいとの事でありました。思い起こせば、平成十三年四月、潮来・牛堀の合併当初は、新生潮来市として発展するものと期待しておりました。しかしながら、三年目にして突き付けられた現実、市民一人当たり一〇〇万近くの借金

と、これにともなう行財政改革のための保育料、国保税、上下水道料等公共料金の引き上げと、市長初め市三役、区長、消防、敬老会等の手当削減など、市民の皆様に対して痛みを願います。この内容をいたしました。この様な市財政の大ピンチは、すべて市執行部と潮来市議会議員の皆様方の双肩にかかっております。

全国各地の議員さんとの意見交換や市議会の視察研修等での見聞を最大限に發揮され、市民福祉の向上と市民生活の安定を図るために、より一層の御努力と御奮闘を心から御期待致します。

来春、開校を迎えることができる牛堀小学校の校舎も完成間近のようでございますし、平成

十七年には、天皇后兩陛下をお迎えして開催される全国植樹祭も我が潮来市の水郷県民の森をメイン会場として開催されることが決まり、全国各市町村から注目されている現在、麻生・北浦・玉造の三町の間でも合併の話が進んでいるようでございます。合弁の先輩市として市議会の皆様方の御活躍を期待致します。

私達区長会も微力ながらお手伝いの一端を背負うことが出来ますれば、光栄の至りにございます。

明るく楽しく素晴らしい潮来市を目指して、その発展を願いつつ、市議会議員の皆様方の御活躍と御健勝をお祈り申し上げます。

編集後記

平成十五年第二回六月定例会も、多くの議案を慎重審議し、会期内に承認可決し終了しました。

一般質問には、八名の議員から市政運営に対し意見提言がされました。

本年は、第十四回全国あやめサミットが潮来市で開催され、全国より多数の来客がありました。潮来のあやめの評価はどうだったでしょうか。無事終了することが出来ました。

私達、広報委員も「議会だより」を早く皆さんに届けられるよう努めてまいります。今後も議会に対して、御協力、御指導を頂き、御愛読の程よろしくお願いいたします。(M・N)

議会広報編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 山沢三千子 |
| 副委員長 | 加藤 政司 |
| 委員   | 内田 正一 |
|      | 山口 晃男 |
|      | 薄井 征記 |
|      | 根本 又男 |
|      | 吉川 菊夫 |

潮来市民憲章

水郷潮来に住む私達は 豊かな水と緑とともに生きて歴史と文化を 輝かしい未来へ継承し 健康で希望にあふれ 世代をこえ夢を育む あったかいまちを 創りあげるため ここに市民憲章を定めます。

1. 自然を愛し、あらゆる生命(いのち)を感しみ明るく美しいまちをつくります。
1. 健康で明るく、思いやりと感謝の心で豊かなまちをつくります。
1. 郷土の歴史と伝統に誇りをもち、文化のまちをつくります。
1. きまりを守り力を合わせ、住みよいまちをつくります。
1. 地域活動に進んで参加し、心のふれあいを大切に楽しいまちをつくります。

市の花・木・鳥



あやめ



ポプラ



よしきり

潮来市シンボルマーク

